MA1211-A © 2012 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO®

P

5299P＊JA

取扱説明書

5299

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

●アナログ＆デジタル時計

アナログとデジタル時計で時刻を表します。
アナログ（針）はデジタル時計の時刻を自動的に指します。

●潮と月の情報（タイド／ムーン）

潮の干満、月の形や月齢を確認することができます。

●ストップウオッチ

1/100 秒単位で 999 時間 59 分 59 秒 99（1000 時間計）まで計測できます。

●タイマー

1 分単位で 24 時間までセットでき、1 秒単位で減算計測を行います。

●ワールドタイム

世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻および協定世界時（UTC）の時刻を表示させることができます。

●アラーム・時報

アラームは 5 本（通常アラーム 4 本／スヌーズアラーム 1 本）セットでき、任意の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意 表紙裏面

液晶表示について 5

操作のしくみと表示の見方 6

操作音について 8
- 操作音の ON ／ OFF 設定 8

ライト点灯について 9
- ボタンを押して点灯させる 9
- 時計を傾けて点灯させる 9
- ライト点灯時間の切替え 11

温度計測 12
- 温度計測のしかた 12
- 温度調整のしかた 13
- “ERR” 表示となるときは 13

潮の干満、月の形や月齢を見る（タイド／ムーン） 14
- 現在のデータを見る 14
- 好きな日時のデータを調べる 14
- 満潮時刻の補正 17
- 月が見える方向を選ぶ 18

ストップウオッチの使い方 19
- 計測のしかた 19

タイマーの使い方 20
- タイムアップ音について 20
- タイマーのセット 20
- タイマーの使い方（減算計測のしかた） 21

ワールドタイムの使い方 22
- 都市の選択 22
- 日付を確認する 22
- サマータイム（DST）について 23
- サマータイムの設定 23
- ワールドタイム都市とホーム都市の入替え 23
- 都市コード一覧 24

アラーム・時報の使い方 25
- アラームについて 25
- アラーム時刻のセット 25
- アラームの ON ／ OFF 設定 26
- アラーム音を止めるには 27
- アラーム音を確認するには（モニターアラーム） 27
- 時報について 27
- 時報の ON ／ OFF 設定 27

時計・日付の合わせ方 28
- デジタル部時刻・日付の合わせ方（ホーム都市の設定） 28

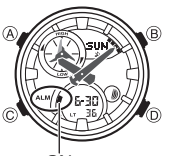
針の基準位置の合わせ方 31

製品仕様.....33
ご使用上の注意.....38
お手入れについて.....41
電池交換について.....42
金属バンドの駒詰めについて.....42

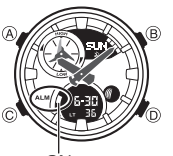
液晶表示について

本書はAタイプの液晶表示で説明しております。
Bタイプ（反転液晶）をお使いの場合は、Aタイプで各インジケーター（マーク）がONのときに点灯するところが白くなると置き換えてご覧ください。

<Aタイプ>



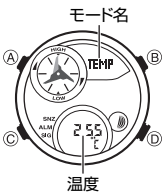
<Bタイプ>



操作のしくみと表示の見方（本書の表示例では、アナログ部（針）を省略する場合があります。）

Ⓒ または Ⓓ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

温度計測モード

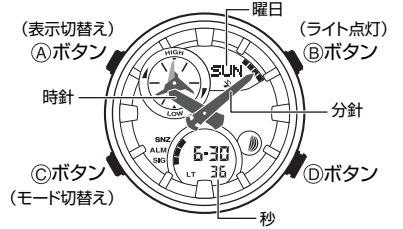


P-12

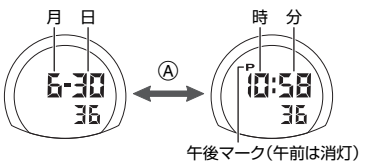
Ⓓ

Ⓒ または Ⓓ

時刻モード



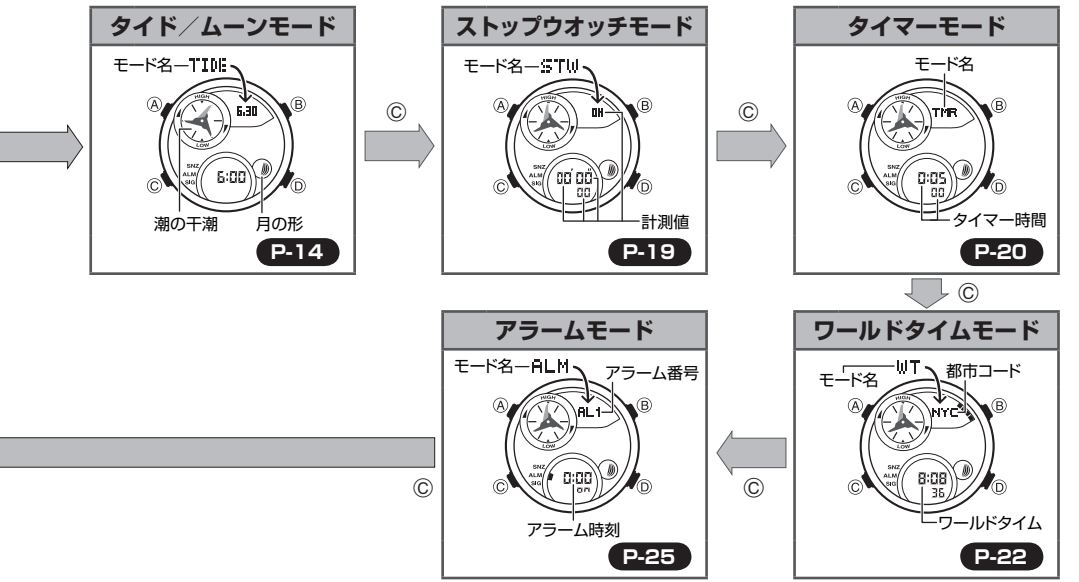
★表示切替えについて
Ⓐ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。



★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

Ⓒ

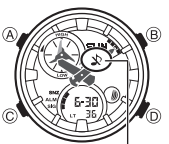


- どのモードで操作していても、Ⓒ ボタンを約 3 秒間押し続けると時刻モードに戻ります。ボタン操作音が ON に設定されているときは、このときピピッと 2 回高い音が鳴ります。

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音の ON ／ OFF を切り替えることができます。

- 操作音を OFF にしているときは、ミュートマークが点灯します。
- 操作音が OFF でも、アラーム・時報などの報告は鳴ります。



ミュートマーク

■操作音の ON ／ OFF 設定

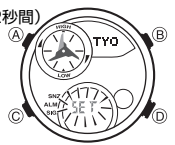
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡“SET”が点滅します。

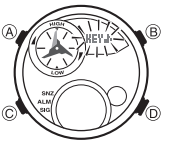
- 5 秒間まで Ⓐ ボタンを押し続けると、他の設定画面(31 ページ参照)になりますのでご注意ください。



2. 「操作音設定」にする

Ⓒ ボタンを 9 回押します

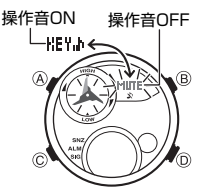
➡“MUTE”または“KEY♪”が点滅します。



3. ON ／ OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに操作音の ON ／ OFF が切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

ライト点灯について

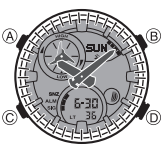
セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも表示を確認することができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

「セット中（表示点滅）」以外のどのモードのときでも、

Ⓑ ボタンを押します



➡Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

- 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます（11 ページ参照）。
- オートライト OFF のときも Ⓑ ボタンを押すと点灯します。

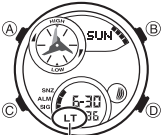
本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても時計を傾けるだけでライトが点灯する便利な機能です。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約 1.5 秒間または約 3 秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき、Ⓑ ボタンを約 3 秒間押し続けて、オートライト ON（オートライト ON マーク点灯）にします。



オートライトONマーク

- オートライト ON のとき、時刻モードで Ⓑ ボタンを約 3 秒間押し続けるとオートライト OFF（オートライト ON マーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



- オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。
- 文字板の左右（3 時－ 9 時方向）の角度を± 15° 以内にしておいてください。15° 以上傾いていると点灯しにくくなります。



<ご注意>

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

<オートライトご使用時の注意>

- オートライトが作動するのは、オートライト ON にしてから約 6 時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライト OFF になります。
  - 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードで Ⓑ ボタンを約 3 秒間押し続けてオートライト ON マークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約 1.5 秒間または約 3 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ず OFF** にしておいてください。
  - 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ライト点灯時間の切替え

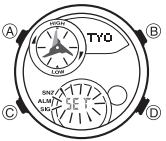
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡“SET”が点滅します。

- 5 秒間まで Ⓐ ボタンを押し続けると、他の設定画面（31 ページ参照）になりますのでご注意ください。

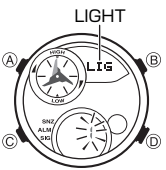


2. ライト点灯時間切替えにする

Ⓒ ボタンを 10 回押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が移動します。

- 点滅箇所の移動については 29 ページ参照。



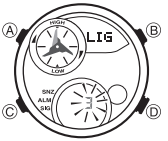
3. 点灯時間を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。

1 =約 1.5 秒間

3 =約 3 秒間



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

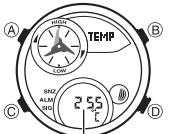
➡点滅が止まり、セット完了です。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

温度計測

■温度計測のしかた

時刻モードで Ⓓ ボタンを押して温度計測モードに切り替えると、温度を表示します。



温度

- 最初の計測には約 3 秒かかります。
- 2 秒ごと※に自動で再計測を行います。
  ※ 最初の 2 分間のみ。それ以降は 2 分ごとに再計測。
- Ⓒ または Ⓓ ボタンを押すと、時刻モードに戻ります。
- 約 1 ～ 2 時間何も操作を行わないと、自動で時刻モードに戻ります。

計測範囲：－ 10.0℃～ 60.0℃
計測単位：0.1℃

- 計測値が計測範囲を超えた場合は、“－－．－”表示となります。

●温度を計測するときは

温度を計測するときは、本機を腕からはずすなど、体温の影響を受けないようにして行ってください。

- 実際の気温と時計の温度が同じになるまで約 20 ～ 30 分程度かかります。

温度を計測するときは、体温の影響を受けないようにします。

例）直射日光に当たらないようにバッグにさげるなど



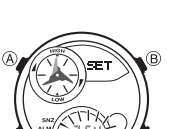
■温度調整のしかた

本機の温度計は、工場出荷時に調整してありますので、**通常は温度の調整を行う必要はありません。**正確な温度計があって、その温度に対して本機の表示が大きくずれている場合にのみ以下の操作にしたがい温度を調整してください。この温度調整を誤って行うと、温度を正しく計測できなくなるのでご注意ください。

1. **温度計測モードのとき、**

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➠右の表示になるまで Ⓐ ボタンを押し続けてください。



2. **温度値をセットする**

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに 0.1℃ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 0.1℃ずつ戻ります。

- それぞれ押し続けると早送りします。
- Ⓓ・Ⓑ ボタンを同時に押すと、“OFF”表示となり、工場出荷時に調整してある基準温度に戻ります。

3. **セットを終わる**

Ⓐ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。その後、温度計測を行います。

■“ERR”表示となるときは

計測中に“ERR”と表示されたときは、もう一度計測してみてください。それでも“ERR”になる場合は故障が考えられますので、「修理サービス窓口」(44 ページ参照)にご相談ください。

潮の干満、月の形や月齢を見る（タイド／ムーン）

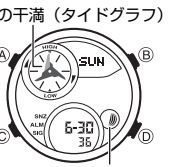
潮の満ち引き、月の形や月齢を調べることができます。

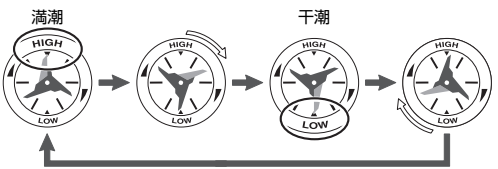
- ホーム都市（28 ページ参照）のデータを表示します。あらかじめホーム都市を変更すれば、その都市のデータを見ることができます。
- 表示するデータはおおよその目安です。航海などには使用しないでください。

■現在のデータを見る

時刻モード(6 ページ参照)では、現在時刻の潮の干満や、今日の月の形※を表示します。

※月の形は、時刻にかかわらず、その日の正午のデータを表示します。





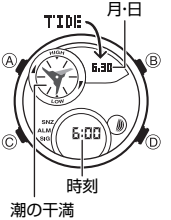
■好きな日時のデータを調べる

タイド／ムーンモード（7ページ参照）では、日時を指定して、潮の干満や月の形・月齢を調べることができます。

1. タイド／ムーンモードにする

➠はじめはタイド画面になり、今日の午前 6 時の潮の干満をタイドグラフで示します。

- 他の日付のデータを調べたい場合は、次の手順 ***2.*** を行う前に、手順 ***3.*** ～ ***5.***（ムーン画面）で日付を選んでください。タイド画面では、日付を変更することができません。



2. 時刻を指定する

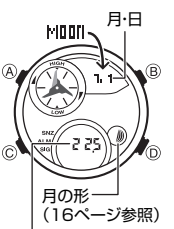
Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに 1 時間進み、その時刻で計算しなおします。Ⓓ ボタンを 2 秒間押し続けると早送りができます。

3. ムーン画面に切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➠今日の月の形と月齢を表示します。



4. 日付を指定する

Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに 1 日進み、その日付で計算しなおします。Ⓓ ボタンを 2 秒間押し続けると早送りができます。

- 日付は 2000 年 1 月 1 日から 2099 年 12 月 31 日の範囲で指定できます。

5. タイド画面に戻す

Ⓐ ボタンを押します

- 月齢の計測誤差は、± 1 日です。
- 約 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動で時刻モードに戻ります。
- データが正しく表示されない場合は、時刻モードの日時や、ホーム都市の設定を確認してください。それでも正しくならないときは、17 ページ「満潮時刻の補正」、18 ページ「月が見える方向を選ぶ」をご覧ください。

月の形と月齢

月の形	新　月				上　弦				満　月				下　弦			
月　齢	28.7 ～29.8 0.0 ～0.9	1.0 ～2.7	2.8 ～4.6	4.7 ～6.4	6.5 ～8.3	8.4 ～10.1	10.2 ～12.0	12.01 ～13.8	13.9 ～15.7	15.8 ～17.5	17.6 ～19.4	19.5 ～21.2	21.3 ～23.1	23.2 ～24.9	25.0 ～26.8	26.9 ～28.6
<Aタイプ> 表　示																
<Bタイプ> 表　示																

- 上の表の「月の形」は、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのものです。南半球や赤道付近で北寄りに月が見えるときは左右逆に見えます（18 ページ参照）。

■満潮時刻の補正

インターネットや新聞の情報に合わせて本機の満潮時刻を補正していただくと、より正確なデータを表示させることができます。

- お使いの場所や季節により満潮時刻は異なります。

1. **ムーン画面にする（14 ページ参照）**

2. **満潮時刻を入力する日付を指定する**

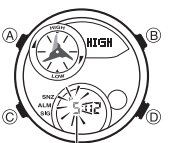
Ⓓ ボタンを押します

3. **満潮時刻のセット状態にする**

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡満潮時刻の「時」が点滅します。

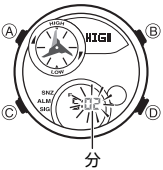
- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

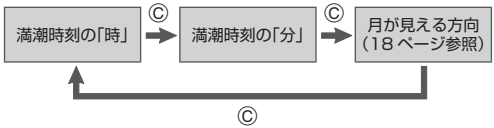


4. **セット箇所を選ぶ**

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。
満潮時刻の「時」または「分」を点滅させます。





5. セットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ·Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- 満潮時刻を「初期値（工場出荷時の時刻）」に戻したいときは、Ⓑ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に押します。
- 一日に 2 回の満潮がある場合は、最初の満潮時刻に合わせてください（2 回目は自動的に計算されます）。
- 時刻モードでサマータイムを ON にすると満潮時刻も 1 時間進みます。

Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を点滅させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンで満潮時刻の「時」および「分」をセットする操作を行います。

6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

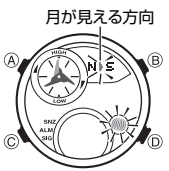
■月が見える方向を選ぶ

「北半球（南方向に月が見える）での月の形」を表示するか、「南半球（北方向に月が見える）での月の形」を表示するかを選ぶことができます。

1. 「満潮時刻の補正」（17 ページ）の手順 *4.* で、「月が見える方向」を点滅させる

2. 月が見える方向をセットする

Ⓓ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに、月が見える方向を表す "☽" の向きが切り替わります。

N → S：南方向に月が見える
N ← S：北方向に月が見える

3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

ストップウオッチの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100 秒単位で 999 時間 59 分 59 秒 99 まで計測できます。計測範囲を超えた場合は、0 に戻って計測を続けます。

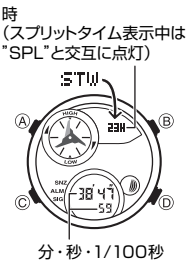
■計測のしかた

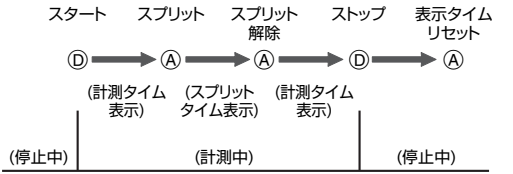
ストップウオッチモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

- 計測の途中に Ⓐ ボタンを押して、スプリットタイム（途中経過時間）を表示させることもできます。





- 表示タイムをリセットしないで Ⓓ ボタンを押すと、そのタイムから計測を再スタートします（積算計測）。
- 計測中にストップウオッチ以外のモードに変更しても、内部で計測を継続します。

タイマーの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で 24 時間までセットすることができ、1 秒単位で減算計測を行います。

■ タイムアップ音について

セットした時間を経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。タイムアップすると計測が止まります。

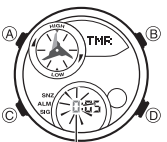
- タイムアップ音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

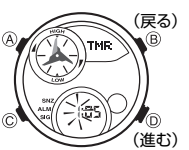


➠タイマー時間の「時」が点滅します。

- ボタンを押すとすぐに“Hold”と表示します。“Hold”が消えるまで押し続けてください。

2. タイマー時間をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



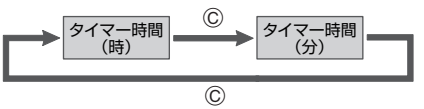
➠Ⓓ ボタンを押すごとに 1 ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
- タイマー時間は 1 分（0:01）～ 24 時間（0:00）までセットできます。

3. セット項目を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➠Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。点滅箇所がセットできます。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

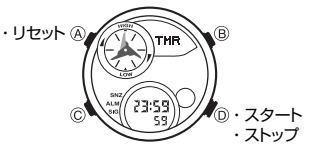
■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

- 計測は 1 秒単位です。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ Ⓓ ボタンを押すと一時的に計測を止めることができます。再び Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を再開します。

ワールドタイムの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻および協定世界時（UTC）の時刻を簡単に知ることができます。

- ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。
- 時刻モードであらかじめホーム都市と時刻をセットしておくと、都市コード一覧の時差にしたがい他の都市の時刻が自動的に調整されます。
- 時刻モードで 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

■都市の選択

ワールドタイムモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

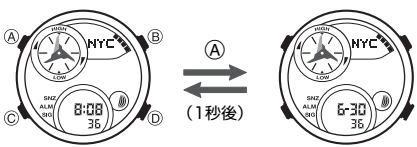
➡Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、その都市の時刻を表示します。

- 押し続けると早送りします。
- 都市コードを UTC（時差 0）にするときは、Ⓑ ボタンと Ⓓ ボタンを同時に押します。



■日付を確認する

ワールドタイムモードのとき、Ⓐ ボタンを押すと日付を表示し、1 秒後に時刻表示に戻ります。



■ サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なり、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの設定

1. **ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押してサマータイムを設定したい都市コードを選びます。**

2. **Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます**



➡DST ON マークが点灯して、サマータイム設定※になります。

※ サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より 1 時間進みます。

- ボタンを押すとすぐに“Hold”と表示します。“Hold”が消えるまで押し続けてください。
- DST ON マークが点灯しているときに、Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。Ⓐ ボタンを押した直後に DST ON マークが消えて再び現れますが、必ず約 2 秒間押し続けてください。
- 都市ごとにサマータイムの設定ができます。
- “UTC”表示のときは、サマータイム設定はできません。

■ ワールドタイム都市とホーム都市の入替え

ワールドタイムモードのとき、Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押すとワールドタイム都市とホーム都市が入れ替わります。入れ替えることにより事前に選択していたワールドタイム都市をホーム都市として利用できます。また、事前に選択していたホーム都市はワールドタイムモードで確認できるようになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名
PPG（PAGO PAGO）	− 11	パゴパゴ
HNL（HONOLULU）	− 10	ホノルル
ANC（ANCHORAGE）	− 9	アンカレジ
YVR（VANCOUVER）	− 8	バンクーバー
LAX（LOS ANGELES）		ロサンゼルス
YEA（EDMONTON）	− 7	エドモントン
DEN（DENVER）		デンバー
MEX（MEXICO CITY）	− 6	メキシコシティ
CHI（CHICAGO）		シカゴ
NYC（NEW YORK）	− 5	ニューヨーク
SCL（SANTIAGO）	− 4	サンティアゴ
YHZ（HALIFAX）		ハリファックス
YYT（ST. JOHN'S）	− 3.5	セントジョンズ
RIO（RIO DE JANEIRO）	− 3	リオデジャネイロ
FEN（F. DE NORONHA）	− 2	フェルナンド･デ･ノローニャ
RAI（PRAIA）	− 1	プライア
UTC	0	＜協定世界時＞
LIS（LISBON）		リスボン
LON（LONDON）		ロンドン
MAD（MADRID）	+ 1	マドリード
PAR（PARIS）		パリ
ROM（ROME）		ローマ
BER（BERLIN）		ベルリン
STO（STOCKHOLM）		ストックホルム
ATH（ATHENS）	+ 2	アテネ
CAI（CAIRO）		カイロ
JRS（JERUSALEM）		エルサレム

コード	時差	都市名
MOW（MOSCOW）※	+ 3	モスクワ
JED（JEDDAH）		ジェッダ
THR（TEHRAN）	+ 3.5	テヘラン
DXB（DUBAI）	+ 4	ドバイ
KBL（KABUL）	+ 4.5	カブール
KHI（KARACHI）	+ 5	カラチ
DEL（DELHI）	+ 5.5	デリー
KTM（KATHMANDU）	+ 5.75	カトマンズ
DAC（DHAKA）	+ 6	ダッカ
RGN（YANGON）	+ 6.5	ヤンゴン
BKK（BANGKOK）	+ 7	バンコク
SIN（SINGAPORE）	+ 8	シンガポール
HKG（HONG KONG）		香港
BJS（BEIJING）		北京
TPE（TAIPEI）		台北
SEL（SEOUL）	+ 9	ソウル
TYO（TOKYO）		東京
ADL（ADELAIDE）	+ 9.5	アデレード
GUM（GUAM）	+ 10	グアム
SYD（SYDNEY）		シドニー
NOU（NOUMEA）	+ 11	ヌーメア
WLG（WELLINGTON）	+ 12	ウェリントン

※ 2012 年 6 月現在、モスクワの時差は「+4」に変更されていますが本機では対応していません。サマータイム設定を ON にして、1 時間進めてご使用ください。

- この表は、本機の都市コードの一覧です。
- この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。
- 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラーム・時報の使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL4）

設定した時刻になると 10 秒間のアラーム音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

設定した時刻になると 10 秒間のアラーム音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。アラーム音を途中で止めても 7 回の繰り返しが終わるまでは再び鳴り出します。

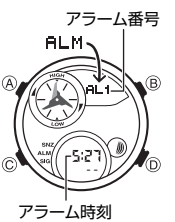
■ アラーム時刻のセット

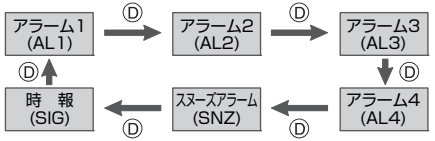
1. **アラームを選ぶ**

アラームモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



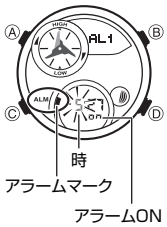


2. **セット状態にする**

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➠「時」が点滅します。

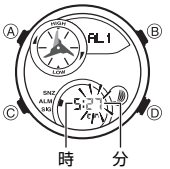
- ボタンを押すとすぐに“Hold”と表示します。“Hold”が消えるまで押し続けてください。
- アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

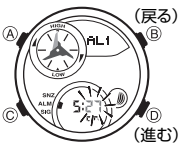


4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順 ***3.*** ～ ***4.*** の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

- 「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または 24 時間制にご注意ください。
- 時刻モードを 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

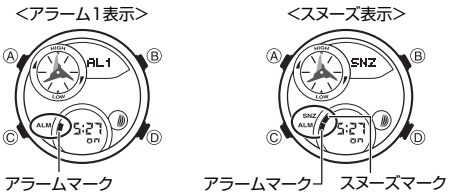
■ アラームの ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。

- アラームが ON に設定されるとアラームマークが点灯します。スヌーズアラームが ON に設定されるとアラームマークとスヌーズマークの両方が点灯します。



- 約 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動で時刻モードに戻ります。

■ アラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

- スヌーズアラームのときは、7 回の繰り返しが終わるまで約 5 分後に再び鳴り出します（繰り返しが済んでいないときはスヌーズマークが点滅します）。
- スヌーズアラームの繰り返しが済んでいないときに以下の操作を行うと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
  - ● スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
  - ● スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
  - ● 時刻モードでセット状態にしたとき。
  - ● ワールドタイムモードでホームタイムの DST 設定を変更したとき。
  - ● ワールドタイムモードでホーム都市を変更したとき。

■ アラーム音を確認するには（モニターアラーム）

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、アラーム音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON ／ OFF が切り替わります。

- 時報が ON に設定されると時報マークが点灯します。



- 約 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動で時刻モードに戻ります。

時計・日付の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

電池交換後などで、時刻や日付が合っていないときは、以下の方法でセットします。

- アナログ部（針）は自動的にデジタルの時刻を指す構造になっています。デジタルの時刻と合わないときは、基準位置を調整してください（31 ページ参照）。

■ デジタル部時刻・日付の合わせ方（ホーム都市の設定）

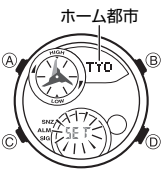
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➠“SET”が点滅します。

- 5 秒間まで Ⓐ ボタンを押し続けると、他の設定画面（31 ページ参照）になりますのでご注意ください。

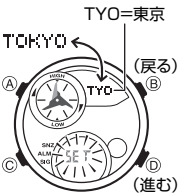


2. ホーム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

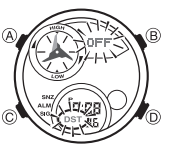
- 24 ページ「都市コード一覧」参照。
- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



3. サマータイム（DST）の ON ／ OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに ON ／ OFF が切り替わります。



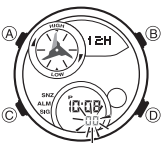
- OFF ＝サマータイム OFF（通常時間）
  ON ＝サマータイム ON（夏時間）
- サマータイム（DST）については 23 ページ参照。

4. 12/24 時間表示を切り替える

Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示“12H”と 24 時間制表示“24H”とが切り替わります。

5. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

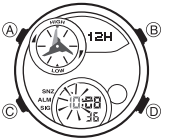


➡「00 秒」からスタートします。

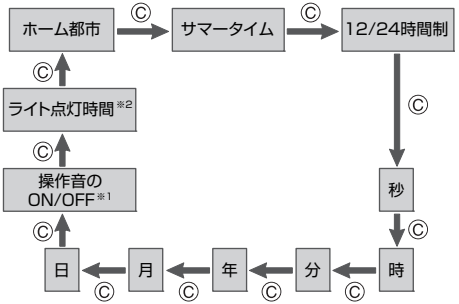
- 秒が 30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります。

6. 「時刻・日付」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**



➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

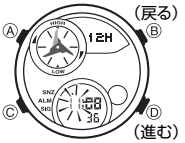


※1 操作音の ON ／ OFF については 8 ページ参照。

※2 ライト点灯時間の切替えについては 11 ページ参照。

- どこが点滅している状態でも、Ⓐ ボタンを押せばセット完了できます。

b. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します**



➠Ⓓ ボタンを押すごとに 1 ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

- Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 a. ～ b. の操作を繰り返して、時刻・日付を合わせます。

- 「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または 24 時間制にご注意ください。
- 「年」は 2000 年～ 2099 年の範囲内でセットできます。「曜日」は自動的に設定されますので、「年」は正しくセットしてください。なお、カレンダーはうるう年、大の月および小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➠点滅が止まり、セット完了です。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

針の基準位置の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

針がデジタル表示の内容と合わないときは、針の基準位置がずれていますので調整してください。

- 針が止まってからボタン操作を始めてください。

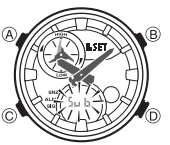
1. タイド針のセット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 5 秒間押し続けます

➠“Sub”が点滅します。

- 途中“SET”を表示しますが、“Sub”に変わるまでそのまま押し続けてください。



2. タイド針が「HIGH」（12 時位置）を指していない場合は、「HIGH」に合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➠Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに、Ⓑ ボタンを押すごとに反時計回りに進みます。

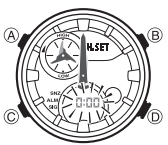


3. 時分針のセット状態にする

Ⓒ ボタンを押します

➠“0：00”が点滅します。

- もう一度 Ⓒ ボタンを押すと、タイド針のセット状態に戻ります。



4. 時分針が 12 時位置を指していない場合は、12 時位置に合わせる

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➠分針が、Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに、Ⓑ ボタンを押すごとに反時計回りに進みます。時針は分針に連動します。

- 時計回りに回して針合わせを終わらせると、より正しく合わせることができます。

＜針の早送り＞

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押し続けると、針を早送りすることができます。

- Ⓑ ボタンの早送りは針が 1 回転、Ⓓ ボタンの早送りは 12 回転すると止まります。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟時刻表示に戻ります。
針とデジタル表示の時刻が合っているか、ご確認ください。

- セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。それまでに行った変更は反映されます。

製品仕様

精　　度：平均月差± 15 秒
基 本 機 能：アナログ部
　時・分（20 秒運針）2 針
デジタル部
　時・分・秒、
　午前／午後（PM）／ 24 時間制表示、
　日・曜日 フルオートカレンダー
　（2000 ～ 2099 年）
温度計測機能：計測範囲　－ 10.0℃～ 60.0℃
表示範囲　－ 10.0℃～ 60.0℃
計測単位　0.1℃
即時計測、温度調整機能
センサー精度：計測精度　± 2℃以内
（温度センサー）（精度保証温度範囲　－ 10℃～ 60℃）
タイド／ムーン機能：潮の干満（タイドグラフ）、月の形、月齢
時刻・日付選択機能
ワールドタイム機能：世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻、
協定世界時（UTC）の時刻を表示
サマータイム設定機能、ホーム都市設定機能
タイマー機能：セット単位　1 分
計測単位　1 秒
計測範囲　24 時間
ストップウオッチ機能：計測単位　1/100 秒
計測範囲　999 時間 59 分 59 秒 99
（1000 時間計）
計測精度　± 0.0006%
計測機能　通常計測、積算計測、
スプリット計測

アラーム機能：時刻アラーム
　セット単位　時・分
　通常アラーム　4 本
　スヌーズアラーム　1 本
時報
　毎正時に電子音で報知
そ の 他：自動復帰機能、サマータイム設定機能、
12/24 時間制表示切替え、LED ライト、
オートライト、ライト点灯時間切替え
使用電池：SR927W　2 個（電池別途販売）
電池寿命：約 3 年
（電子音 10 秒間／日、ライト 1.5 秒間／日
使用した場合）

- ライトを頻繁に使用すると、電池の持続時間が短くなります。


memo


memo


memo

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。

● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。

● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
  ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- （JIS 1種耐磁時計）日常生活において、磁界を発生する機器に5cmまで近づけても性能を維持できる水準となっていますが、強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する機器に密着、あるいは近づけることはお避けください。針を動かすモーターへ影響を与えることにより針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因になります。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

● 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
● バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

● 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

● 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

■ センサーについて

● 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース·バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース·バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にヒビなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

